

2020 年度事業 進捗報告書（実行団体）

- 提出日 : 2021年 9月 30日
- 事業名 : 人口減少化により孤立した集落の関係人口による課題解決プロジェクト
- 資金分配団体 : 特定非営利活動法人宮崎文化本舗
- 実行団体 : 特定非営利活動法人五ヶ瀬自然学校

① 実績値

アウトプット	指標	目標値	達成時期	現在の指標の達成状況	進捗状況 *
コンテンツの海外発信のための英語翻訳の仕組みが構築されるコロナ終息後、外国人が訪れている	オペレーションのマニュアルを作る	マニュアルがある 訪問数 10	2023/3/1	仕組みづくりを行っているところである。現状新型コロナウイルス終息の目途が立たず、外国人の訪問の見通しが立てられていない	2
ホームページや SNS や YouTube などにコンテンツ・情報が定期的に発信され、それを見た人の一定数が行動を起こしている(コンバージョンレートを利用)	投稿数、視聴回数、再生時間、トラフィックソース、チャンネル登録者数、高評価などアナリティクスを使ったデータなど	ホームページ訪問数 2000 回 /年 フェイスブック投稿数 24 回 /年 Youtube 投稿数 12 回 /年	2024/3/1	投稿は行っている。	2

政策提案コンテストの実践活動	提案数／採択数／参画人数、回数	2021 10案／5案／のべ500 2022 10案／5案／のべ500 2023 10案／5案／のべ500	2022/3/31 2023/3/31 2024/3/1	8月末にスタディツアーを行い、政策提案コンテストに向けて7グループが準備を進めている。	2
関係人口五ヶ瀬モデル」を住民、地域づくり団体、行政などで協議し定義化・策定する。 例えば、関係人口の深化の状態を以下の3段階に定義する レベル1：定期的に集落活動に参加、特産品を購入 レベル2：集落活動の常連客、特産品の定期購入、SNSで情報交換 レベル3：集落活動の企画に参画、特産品の開発や販売に関わる、SNSで情報発信、政策を提案し実践する	「関係人口五ヶ瀬モデル策定協議会(仮称を新規設立)」し合意形成の取れた「関係人口五ヶ瀬モデル」が策定されている。	「関係人口五ヶ瀬モデル」が協議会(行政、観光協会をはじめとするメンバー)、で合意形成が取れており、地域内で理解されている。それをういた活動が行われている。行政や有識者から公式に公表される。	2023/3/1	策定協議会に向け、委員の選定や外部講師の依頼などを行っている。	2

*進捗状況：1 計画より進んでいる、2 計画どおり進んでいる、3 計画より遅れている、4 その他

② 事業進捗に関する報告

1.事業計画に掲げた短期アウトカムの達成の見込み
2.概ね達成の見込み
2.アウトカムの状況
A：変更項目 <input checked="" type="checkbox"/> 変更なし <input type="checkbox"/> 短期アウトカムの内容 <input type="checkbox"/> 短期アウトカムの表現 <input type="checkbox"/> 短期アウトカムの指標 <input type="checkbox"/> 短期アウトカムの目標値
5. 新型コロナウイルス感染拡大に対して、事業活動を行う際に工夫した点
オンラインを活用したりリモートでの実施、感染対策の徹底

③ 広報（※任意）

- 1.メディア掲載（TV・ラジオ・新聞・雑誌・WEB等）
- 2.広報制作物等
- 3.報告書等